

科目名・単位数	公会計論 2単位	科目分類	財務会計系	応用・実践科目
配当年次	2年次・秋学期・昼	担当教員	ふるいち ゆういちろう	
履修形態	選択必修		古市 雄一郎	
授業概要	<p>会計は、一種の情報伝達システムであり、その対象は、必ずしも営利企業に限らない。本講義においては、国・地方自治体等のパブリックセクターおよび公益法人や NPO 法人に代表されるプライベートセクターの外部報告会計について検討・分析を行う。理論の背景となる軸として非営利組織の特徴および企業会計との共通点および異同点に注目して分析を行う。</p>			
到達目標	非営利組織会計の固有の論点について理論的考察を行う。			
授業方法	講義、演習、ディスカッション、授業内レポート等を組み合わせた形で進行する。			
事前・事後学習	テキストの指定箇所の予習 (120 分) 必要な補足資料の収集 (120 分) 計算演習 (120 分)			
成績評価の方法	期末にレポートを課す			
フィードバックの方法	講義内における質疑応答、ディスカッションを通して行う。			
履修上の注意	財務会計Ⅰ・財務会計Ⅱを履修済みであることが望ましい。			
授 業 計 画				
第 1 回	公会計制度の基礎となる非営利性の概念について検討を行う。 (復習：講義内での議論の論点整理 各 90 分)			
第 2 回	日本の政府会計制度の概要を取り上げて説明する。主たる対象として、国、地方自治体、独立行政法人、国立大学法人等が当てはまる。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各 90 分)			
第 3 回	政府会計制度のうち、国の財務書類を取り上げ、検討、分析を行う。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各 90 分)			

第4回	政府会計制度のうち、地方自治体の作成する財務書類を取り上げ、検討、分析を行う。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第5回	国際会計士連盟の国際公会計基準審議会から公表された国際公会計基準を取り上げる。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第6回	独立行政法人および国立大学法人の会計について検討、分析を行う。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第7回	日本における非営利法人（一般社団法人や一般財団法人、社会福祉法人、学校法人、NPO法人等の）概要を説明し、それぞれの特徴を分析する。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第8回	公益法人に適用される公益法人会計基準について検討、分析を行う。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第9回	社会福祉法人に適用される社会福祉法人会計基準について分析、検討を行う。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第10回	特定非営利活動法人(NPO法人)に適用されるNPO法人会計基準について検討、分析を行う。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第11回	学校法人適用される学校法人会計基準について、検討、分析を行う。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第12回	病院に適用される会計基準について検討、分析を行う。病院をめぐる会計については、我が国固有の特殊事情がある。その点を含めて、検討、分析を行う。
第13回	米国における非営利組織の分類および適用される会計基準について検討を行う。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第14回	非営利法人の課税について公益法人への課税を中心に検討を行う。 (予習：前回講義で指定した資料の下調べ、復習：講義内での議論の論点整理 各90分)
第15回	講義全体の振り返りを行う。 復習：レポート作成
テキスト	講義内において指示する
参考図書	開講時に指示する